(年中無休刊) 大正八年二月六日 第四千七十九號 (一)

京城日報

本紙定價 一箇月金七十五錢 …… 廣告料金 …… 發行兼編輯人 奥田直一 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 ……

世界大勢と軍備(七)

陸軍少將 星野庄三郎氏談

帝國の國是と軍備

抑も軍備は國是に基いて設けられなければならぬ即ち我國是は亞細亞洲であつて具體的に言へば東亞に向つての經綸を得永遠に此の國是を把持しなければならぬ此の國是に從つて軍備は設けられてゐる而も今迄は軍備を整ふるに際し露國を重要なる考慮の中に入れてゐたのである然るに端無くも此度の大戰亂に遭遇したのであるが此の大戰亂に於て其戰況の推移の激烈なるに外あつたのには大いに驚かされた次第である併し乍ら之れに依つて得たる新智識は亦實に尠からぬものがある此新智識を多く得たる我國は今後如何なる軍備を爲せばよいのであらうか大露西亞帝國として世界の强國を以て誇つてゐた露國は今日既に世人の知るが如き狀態にある我國としては目標を失つたやうな形になつた尤も全く失つたといふ譯ではないが今後の軍備に就ては少からず考慮を要する併し露國今日の狀態を以て露國が全然崩壞して了つたといふのは [illegible] 黒龍江の流れを隔て、彼方には支那の大國がある而も此の大國たるや國內の物資は無盡藏である戰後各國の鋒を注ぐは言ふ迄もない隣國として此の支那大國に一番密接の關係を有してゐるのは我が日本帝國であるが今日の世界の競爭狀を見れば決して油斷は出來ぬ英米佛伊其の他各國共我日本に比して遙かに支那と遠ざかつてゐるとはいへ戰後に於ける交通の發展を思はねばならぬ西伯利鐵道は既にあり甲關鐵道も遠からぬ中には實現するであらうバクダット鐵道も或は印度より支那に延びるかも知れぬ殊に米國はベーリング海峽より西伯利に通ずる鐵道を計畫してゐるこの時もあるではないか若しそれ等が全部實現したとすれば假令千里の海山を隔てゝゐる國といへども隣國の我帝國と何等異なる處はない而も今日に於ては既に再び起つ事の出來ぬであらうと評されてゐる獨逸と雖も決して永遠に默してはゐないだらう彼の統一心に强い愛國心に富んだ獨逸國民は必ず再び頭をもたげずにはゐないだらう彼を想ひ是れを思ふと我が國民としては決して油斷をする事は出來ぬ僅の倚金に眼がくれて世界を永遠の春とする事は斷じて出來ない今日崩壞の狀態にある露西亞も遠からぬ將來には夢醒め再び恢復の氣運に向ふであらうペトログラードに僅に殘る八十萬の住民は日夜塗炭の苦しみを見て居るもの、此の苦しみが永遠に續くものではあるまい何れの時か將來に於て反省するであらう彼一億の露國民がユダヤ人と同樣なる結果を齎すといふ事は決して有り得べき事とは思はれない而も露國の軍事教育を見よ三百萬の壯丁は何時にても銃を執つて戰線に立つ事が出來る其內に於て今回の戰亂に敵彈の的となつたものもあるけれ共それは實に僅なものである(東京支局)

總復員(三)

某軍事通談

業復興省は大正七年十一月二十六日附の大統領令に依つて兵器局を改稱したものであつて改稱と同時に從來の附屬機關中準軍事機關は之れを陸軍省の隸屬に移し尚封鎖省に屬してゐた任務の一部を本省の主管に移したのである而して其任務は關係諸省と聯絡して

▽作業力原料 及び國民需要の緩急を顧慮し全力を盡して主務官廳との協調を圖り其の法文品の配給を司どり關係諸省と協力して產業に關する一般の計畫並に國產の增加に關する諸法案の發案及び其の研究に參與するのである又陸軍省內復員局は大正七年十二月六日附の大統領令に依つて創設せられたるものであつて局長は關係各省任の範圍に於て軍の復員に關係ある內外一切の整理に任ずるのであつて [illegible] 帝國の歸國に伴ふ外國との關係及び社會關係の問題を解決して之れが整理に盡瘁すべき職責を有し各方面に亙る事務を處理する

▽處理を容易 ならしむる趣旨に出でたるものである次に米國では戰時又は戰後自國及び諸外國に於て發する諸般の狀態を觀察し其の結果を調査せしめ必要の證議又は法案の起草を爲さしむる爲上下兩院各十名を以て組織せられたる戰後經濟調査委員設置せられ伊國では國家總復員に關する諸問題調査會が創設され白國では經濟事務省を獨逸では帝國復興經濟委員會及帝國經濟省又は經濟復員省なるものが創設されてゐる治にゐて亂を忘れずと共に亂に處して治に致すのは亦極めて必要な事である而も此の事たるや言ふは易くして行ふは甚だ難い殊に

▽這次の戰爭 の如きは各國何れも國を擧げて目前の交戰の爲に當り人智人力の限りを傾けて亦餘裕なきの秋に於て靜かに思ひを戰後の計に馳せ國家總復員の準備計畫を策定するが如きは尋常普通の業ではない然るを此等の諸國が戰爭劇忙の際に既に總復員の準備計畫に着手し研鑽討究備るなく爲めに休戰に會して殆ど狼狽の色も無く着々之が實施に着手しつゝある事實は實に鑑戒と爲すに足るではないか惟ふに交戰ヶ國が殆んど何等の準備も計畫もなくして國家の總動員を行はなければならぬ窮況に陷り錯愕周章の已む無き所謂苦しき過去の經驗は其復員に對する

▽準備をして 適時劃切なるを得せしめた一大原因となつたのであらう而して之等諸國の復員準備が早きに於て着手せられ其の企畫の大規模であつて且つ周到である實情に徵して見れば其の戰爭に因る疲弊の回復は比較的迅速なるを得るではあるまいか激烈なる經濟戰の將來は蓋し豫想外に速かであらうと思はれる既に述べた如く列國の國家總復員が單に戰態の復興に拘泥する事なく進んで事物を革新改善する目的をも包藏して更に此の間將來に於ける國防と經濟との調和を圖る點に深く留意して行はれつゝあるの一事は以て他山の石となすべく之に關する施設措置は吾人の特に考査を要する次第である唯各國の總復員は尙單に其の

▽端緒に就い たといふに止まつてゐる爲めに實績の多く紹介する事の出來ぬのは實に遺憾とする所である將來の戰爭に處して國家總動員計畫の必要なる事は言を俟たざる所であるが復員に於ても亦然うである固より周密なる復員の計畫の如きは之れを考定するに由なしと雖も其の方針並に施設の大綱に至つては豫め之れを研究策定するの要はある須らく這回各國の實際に行はんとしてゐる所は遍く採つて研究の資に供しなければならぬ(完=東京支局)

財界の新舊人(25)

西海生

黒澤明九郎君

京城管理局工場長

京城管理局の課格たる工場長黒澤明九郎君は工場課長若くば工作課長と云ふ位置である、龍山の鐵道工場を總轄し、併せて平壤・龍山二工場を管理してゐる、久保局長と同じ群馬縣の出生で三十四年に東京工科大學の機械科を卒業、朝鮮鐵道には京釜鐵道時代から來てゐて、一時は工作課長もやつたが、其後汽車課の隔處を受くる龍山工場長として鐵道統一時代に及び、京城管理局になつてから、三工場を指揮する工場長の椅子に就いたのである

▲一昨年、久保局長の來鮮後滿鐵の元老院として新に設けられた本社總務部の業務研究所に、餘儀なくまつり込まれし横井實郎君は、口吃々として徳利より味噌を出すやうに發言困難であつたが、その課長室に入ると、幾個の大机の上に所狹きまで機械に關する列國の著書を堆く積み、暗默の裡にコツコツ研究を怠らず、機械の方では先づ朝鮮鐵道の第一人者として、自らも許し又人も許してゐたやうである、然も君なき後の京管局では誰が聽いても黒澤君に機械科のオーソリチーたる榮譽は冠せられてゐるやうだ

▲君は技術家に通有な偏狹性を有してゐない、調子の好い、如才のない、常識に富んだ先づ朱點の打ち所少き一個の紳士である、三工場の監督者として日常感じてゐるからか、社會問題などにも相當の知見を有するらしく、去年のやうに鐵工界が多忙で、職工の爭奪が烈しく、君の養成した職工が、内地や朝鮮の他の工場に引き出されたりする事實に遇ふと、工場經營者の德義論などを高唱したりする徒弟の養成、その教育などと云ふ事には、君自身大いに趣味もあるやに見ゆる、幸ひに此の四月から開校する京管の鐵道學校には君の獻策か否かを知らず、徒弟科の一科を置くさうであるから、君の素論の實行に便宜があるだらう

▲頭も可なり好いと云ふ事は、そのハキハキした要領の好い話しぶりに窺はるゝ、大きい目をパチツかせる所にもいくらか君の才分を現はしてゐる、管理局の高級社員中では可なり運動好きの方で、殊に鳥打に熱中してゐるやうだ、日曜となれば身體の具合でもわるくない限り、得意の輕快な裝束でロハの汽車をドコかにか乾度乘つて出かける事に決定めてゐる、唯朝坊なので急行で出發するさうだ

露代表招待と露國名士の意見

紙は曰くヴェルサイユに於ける五大强國講和委員は露國の紊亂を鎮靜せしめつゝある各國より三名宛の代表者をプリンツェス島に招待し相互の意志を融合せしめ内亂的紛擾を除去せんと欲し通牒を發したるが同問題に付リウォフ公及びサゾノフ氏の二重特派使は絕對に不賛成にして現時の激派を目して國賊或は盜賊と認めつゝある與合と等しく共に國を議する如き到底忍び能はざる所なればオムスク政府に斷然之を拒絶することなかるべく又露國一般の輿論として去る一月二十五日の巴里講和委員の露國問題に關する協議に於て公表せる處に依れば露國の騷擾を鎭定するに非ざれば滿足なる講和條件の締結を見る能はざるを以て [illegible] 五强國は [illegible] 既に武器及び將校を [illegible] 將軍に供給し一擧にして過激派を撲滅すべく斯くて露國の平定を謀るを務とし然る時は軍は此の武器を得ば直ちに十四師團の編成を爲し得べく將來も亦一層有力なる地盤を作り過激派を撲滅せずんば將來は到底露國の安泰を期する能はざるなりと訴明せり(サモワール會 [illegible])

五色饅頭

劍花坊

川柳といへば、可笑いことばかりを云つて巫山戲てゐるばかりかと思つたら大間違ひだ、ひどく眞面目な歌つたのになると、人情を悲こしく取扱ふ、新川柳は、和歌や發句より人を動かすだけに我々の取扱ふ新川柳ばかりでは無い、昔の川柳にも隨分有る。

片輪を拵へる夕べの河豚仲間

河豚が同時に食つた友達は、その晩に死に

代脈がちと見直した晩に死に

毒に中つて死んだ。興津へは葬禮の [illegible] れたといふ字は悲しい字だ。

こんなことは今でも有る。

南無女房乳をのませに化て來い

子を殘して女房に死なれた男親のこゝろは女房の幽靈でも [illegible]

孝行のしたい時には親が無し

されどとて石に蒲團も著せられず

樹静かならんとすれども風やまず、子養はんとすれども親待たず、昔も今も同じことだ、新に親を亡くした僕は、この古句を見るたびに胸が一ぱいになる。

⦿馬鈴薯の原產地⦿(下)

馬鈴薯の原產地に就ては [illegible] ……(農學世界)

本校生徒約百名ヲ募集ス 入學願書二月二十日締切 私立京城女子技藝學校 生徒募集 京城西小門町 電話一七八九番

最新刊 戀の哀史 須磨子の一生 秋田雨雀 仲木貞一 合著 定價四拾錢 送料四錢 東京本郷一町 大阪屋號

株式會社百三十銀行 第四十一回營業報告 [illegible]

餅と酒

お雜煮、お汁粉とホシ胃腸藥

正月は飲み食ひ月新春第一に胃腸を見舞ふものは吉例の雜煮餅なり 續いてお汁粉安部川餅、ヤレお鮨、ソレ何々と食卓を賑はし、思はず知らず食へ過し、食もたれの結果は自然消化不良に陷り溜飲、吐瀉、胃弱、胃擴張等に侵され胃腸を損ふ事多し。斯る場合には一匙のホシ胃腸藥を用ふべし

ホシ胃腸藥の一匙は、よく消化作用を促進して、食もたれ、食へ過ぎ、溜飲、吐瀉、惡心、胸痞、等を治する特効あり胃腸藥中の第一品なり

ホシ胃腸藥活用時

消化不良の時	食慾不進の時	飲過食過の時	腹痛吐瀉の時	胸痞への時	胸の苦しき時	胃腸カタルの時	胃擴張の時	溜飲の出る時	惡酔宿酔の時

お酒の惡酔宿酔とホシ胃腸藥

御親依の屠蘇を先づ手始めにコゝの宴會カシコの廻禮と寢ても起ても酒びたり、我にもあらで盃の數を過ごすこと多く斯くて酒は新年第一に胃腸を懲ませ、果は惡酔、宿酔等に導きて目出度き新春を不快に過させる事尠しとせず。若し我を忘れて盃の數を重ね惡酔、宿酔等を覺えたる時は直ちにホシ胃腸藥の一匙を服用すべし。ホシ胃腸藥を服用する時は忽ちにして惡酔、宿酔の不快を去り、苦痛を除き快く新年を送ることを得べし

胃病良藥 ホシ胃腸藥

資本金五百萬圓

定價	
	五十錢
	一圓
	二十錢

各地藥店及特約店にあり

東京市京橋區南傳馬町三丁目 星製藥株式會社 振替東京[illegible]番 電話京橋[illegible]番

第四十一回帝國議會

貴族院豫算總會（四日延著）

午前十時十七分開會

▲阪本釤之助氏　帝大學生の普通選擧運動は學生の本分を缺ぐ嫌ひあり又專門學校生徒が學校昇格運動を爲すも考慮すべき事なり政府の所見如何

▲原首相　帝大學生の普通選擧運動に就ては斯る事無きやう注意し置けり昇格運動も善事とは認め難しと答ふ次に

▲橋本辰二郎氏　追加豫算の巨額なるに就き政府の所見を問ふ加藤海相物價騰貴に原因すと述ぶるや石黑忠惠男斯る追加豫算に就ては當然臨時議會を召集すべきものなり之を延期せるは如何之に對し原首相は前內閣の責任に屬するを以て答辯に苦しむと述ぶるや若槻禮次郎氏之に補給を入れ次で谷森眞男氏と西野主計局長との間に追加豫算剩餘金に就き又橋本氏と政府委員との間に戰時利得税見込違ひに就き二三問答あり終つて江木翼氏戰時利得税より生ずる自然增收を追加豫算に使用する事に就き其他石渡敏一、阪本釤之助、鎌田勝太郎氏等と政府當局との間に問答あり正午休憩す（以下夕刊へ）

衆議院分科會

▼第一分科會（四日）（文部省所管）（夕刊より續く）故障延着

午後一時再開柏原文太郎（國民）土屋清三郎（新政）兩氏の質問に對し中橋文相及び松浦（專門學務）赤司（普通學務）兩局長より『新大學令、高等學校令年限短縮に限らず私立大學は官立と同樣の待遇を與ふると共に制限令を設け又私學補助案を考慮中なり又宗教法案は解決の目的にて之又考慮中なり尙ほ化學獎勵に就ては來年度に於て更に私立學校にも厚くする筈なり』と交々答辯し散會

▼第二分科會（五日）（內務省所管）

第一分科會の諸事電線故障の爲め本紙締切迄に著せず夕刊に讓る

午前十時五十五分開會、北井波治目（新政）東武（政）氏等の質問に對し床次內相北海道長官北海道未開地拂下收入、拓殖事業自然增收中に就きて答へ尙流行性感冒の問答あり正午休憩

▼第三分科會（農商務省所管）

午前十時五十五分開會、井上角五郎氏（政友）工業用鹽供給に就き質問し次で齋藤珪次氏（政友）はセルロイド工業に就き山口恒太郎氏（政友）は工業用鹽の廉價供給に就き質し中村啓次郎氏（政友）は曹達工業は臺灣にて起業するを可とすべしとは民政長官の説明なるが水田の供給を見込み調査の上なるやと質せば下村長官然りと答へ之にて休憩

時あり之にて植民地の豫算に關する問答を打切り午後三時半散會

▼第四分科會（海軍省所管）

午前十一時開會、加藤海相海軍所管大正八年度豫算に就き説明し高木正年（憲政）小川鄕太郎（新政）兩氏の質問あり海相八年度に計上せる海軍一般計畫は現定計畫に基き軍備補充を完成するに努めたるものにて九年度には更に何等かの形式に依り追加要求する豫定なり鐵價暴落は枝光製鐵所との特別協定に依り何等影響無しと答へ正午過ぎ休憩（以上休憩後は何れも夕刊へ）

▼第五分科會（四日夕刊續き）（農商務省所管）

午後一時半再開、山田珠一氏（憲政）開墾助成法案內容に就き質す政府委員道家農務局長右の補助は工事竣成後收穫ある迄繼續す可しと答へ尙ほ二三質問あり農相昨今船腹豐富なれば外米輸入に船舶不足の憂ひ無しと答へ尙山田氏の勞働保險の質問に對し農相同案は內務、遞信協議の上統一的調査を爲すべしと答へ後武藤金吉氏（政友）の質問あり午後四時五分散會

▼開墾助成法案委員會

開墾助成法案委員會は五日午前十時開會、道家農務局長全國を十三班に分かち五十町歩以上の集團地二十五萬町歩を十五箇年に開拓する計畫なる旨を説明し散會せり（東京特電）

朝鮮紡織　事業計畫問答

午後一時半再開湯淺凡平氏（國民）（一）朝鮮紡織會社の工場位置及重役氏名（二）原料棉花の需給（三）紡織會社補助の理由（四）治水及水利事業調査の經過及將來の計畫（五）鹽煙草の專賣計畫に關する質問を爲し鈴木政府委員の答

◎◎◎◎滿洲經濟發展　濱面少將談

沿線巡視中なりし關東都督府參謀長濱面少將は三日夜撫順より奉天再來衛陽館に投じ四日朝來奉せる南騎兵大佐坂西少將と會見の上五日歸任せるが其際往訪の記者に對し語りて曰く滿洲には去る明治卅六年日露の風雲將に急なる時暫く駐在したると三年以前彼の蒙匪襲來の折來合せたるとのみにて多くを知らずされど巡視の結果各地方に於て聽取せる所に依り綜合判斷するに滿洲全體としては其人口最近突飛的に增加したるに非ざるも各地經濟的發展は極めて著しき現象なるが如し彼の鄭家屯吉林等は其好適例なる可し今後は須らく人口の增加を圖るが急務なる可く發展の曉は近來頓に唱へられつゝある食糧問題解決の一助ともなるべきかと（奉天特電）

◇人種的差別撤廢期成大會

人種的差別撤廢期成大會は四日會を開き五日大會を開催せり（東京特電）

◇秋月氏等渡佛

秋月左都夫、海老名彈正の兩氏は十日神戸出帆の三島丸にて渡佛す可し（東京特電）

◇日本は還附に反對　青島還附に就き支那と協定か

日本は獨領還附に反對し膠州灣問題は勿論國際管理にも贊成せず領有を主張し正式に青島を獲得し次いで還附に就き支那と協定すべく斷じて獨逸の容喙を許さず英佛も又其主張と一致する所なるが如しと傳へらる（巴里電報）

◇國際聯盟草案

國際聯盟草案は前文及二十二箇條より成り三千語を含めり骨子は英米委員の手に成り根本は全く世界的なり日本は聯盟に對しては傍觀的態度を執り何等言明を爲さず佛國も又餘り氣乘りせざるが如し（巴里電報）

◇濠洲側主張拋棄　獨領植民地問題一段落か

獨領植民地處分問題は一時形勢險惡なりしも三十日の會議にて危機一掃されたり濠洲、新西蘭代表者は一時獨領植民地の占領を極力主張せしが結局英國首相及びウィルソン氏側に贊成し之が主張を拋棄せり尙日本委員は本國に照會の要ありとて委任制度に除外を求めたり委任組織の詳細は地理專門家をして國際聯盟案と相俟ち計畫を作成せしむべし此決定に對し濠洲首相は頗る釋然たらざるもの、如き言明を爲せり（巴里電報）

◇豫備條件提出期　二月十七日

豫備講和條件は休戰條約再訂新條件と共に多分二月十七日獨逸に提出せらるべし（巴里電報）

◇日支問題提議か

支那講和委員顧維鈞氏は聲明して曰く支那は青島還附を得るに決し之を自由港と爲す意あり尙支那は講和問題と關係無き日支問題を提議す可く觀測さる（巴里特約員發電）

◇支那政府に警告　支那講和使節の言明に關して

駐支小幡公使は二日支那政府に對し青島に關し支那講和使節が歐洲にて種々の議論を爲すは日支間の關係に惡影響を及ぼすもの也との意を告げたるが之に對し支那の本旨は斯の如きものに非ず彼等の言動は政府の意を超越せりとの回答ありたりと（北京電報）

◇レニン降服の意　露都に軍隊の反亂勃發す

某所着電に據ればレニンは自己及び同僚の特赦を條件とし聯合國に降服の意あり近來過激派人物として盛んに活動する者にピータと稱する水兵あり多分レニンに代つて重要の地位を得べし又露都には軍隊の叛亂勃發しクロンスタット（ペトログラード西方の軍港）砲臺より露都を砲擊しつゝあり小露西亞獨裁內閣は聯合國に援兵派遣を請ひつゝありと（東京特電）

◇露債務支拂意思

佛國首相クレマンソー氏が米國大統領ウィルソン氏及び英國首相ロイドジョージ氏の露國各政府代表者をプリンセス島に招致し會議を開くべしとの協議に同意するに至りたるは頗る奇怪事として注目を惹きつゝありしが這は過激派政府が聯合國に對して露國の債務を支拂ふの意思あるを發表したるが爲めなりと傳へらる（倫敦電報）

◇支那國防軍と日本

段祺瑞氏の國防軍に關し種々の誤解あるより日本政府は數日內に北京政府をして國防軍を南北爭鬪の具に供せしめざる保證を爲さしむるか或は何等かの制限を附せしめ誤解を釋くの處置に出づるやも知れずと傳へらる（北京電報）

◎未墾地利用增大　原因は地價及穀價の昂騰

朝鮮に於ける國有未墾地の利用は逐年增加の趨勢にあり當局に於ても常に利便を圖り居れるが今大正七年中の出願件數を聞くに一千六百六十一面積三萬五千五百七十六町歩前年の一萬二千八百十九町に比すれば面積に於て

▲二倍以上の增加を示せり而も大面積利用の勃興せるは最も注目すべく之れ以前にありては一千町歩以上の纏りたる面積の出願殆んど無かりしに比し昨年は一千町歩以上のもの四件を數ふるに至れり即ち山本唯三郎氏の京畿道富川郡に於る、東拓會社の忠清南道保寧郡及び平安南道安州郡に於る及中村組の平安北道宣川郡に於ける等之なり而して大面積の利用地は總て干潟地にして這は貸用地點よりも比較的一時に大面積を得らるゝの便宜に依るものなり更に道長官の取扱に係る三町歩以下の小面積利用は前年の九百件七百九十二町歩に比し昨年は一千二百八十四件一千百四十六町歩に增加せるが這は小農者の穀價の昂騰に依る

▲收益增加の一面を見るを得べし即ち此の道長官取扱の小面積は當局に於ても地元民の便宜の爲め取扱ひの簡易を圖る方針に依るものより而して地元民は總て朝鮮人農者なるが之等が穀價昂騰に依る收入の餘裕あるを示すものと云ふべく此傾向は本年に至り更に增大すべきは疑ひなき所なり總じて利用增加の原因は近時地價及び穀價の騰貴に依るものにて從前は未墾地に投資するよりも熟田に投資するを以て有利とせるに近時全く反對の現象を呈し來れり尤も此の出願件數に對し

▲許可を與へらるべきものは約半數以下にして不許可となるもの、多くは所謂空權者流乃至公益上の理由等に依るものなり今昨年中に於ける出願を各道別に表示すれば左の如し

道名	總督府取扱	官取扱	計
京畿	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
忠南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
全南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
慶南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
黃海	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
江原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸南	[illegible]	[illegible]	[illegible]
咸北	[illegible]	[illegible]	[illegible]
總計	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]

◎通信收入概況

昨年十二月中朝鮮通信事業收入は五十九萬五千三百四圓にして豫算に比し十四萬九千百二十二圓（三割三分）を超過し前年度同月分の收入に比すれば十二萬千九百二十六圓（二割六分）を增收せり又十二月迄の收入累計は四百七萬三千五百五十五圓にして豫算を超過すること八十八萬九千八百六十四圓（二割八分）前年度同期の收入に比し七十萬六千四十四圓（一割一分）の增收となれり

◎朝鮮銀行決算

朝鮮銀行にては夕刊所載の如く大正七年下半期の株主配當を年九分に決定一分の增配を行ふ事となりしが益金分配案左の如し

利益金分配案

千五百四萬參千四百五拾四圓四錢　總益金

千參百參拾八萬貳千七百七拾四圓五拾錢　總損金

外參拾五萬參千六百五拾參圓貳拾錢　前期繰越金

小計金貳百壹萬四千參百貳拾八圓九錢

百參拾四萬七千八百拾圓　第二回新株割增金

合計　參百參拾六萬貳千百參拾八圓九錢

內百八拾五萬圓（一金百參拾四萬七千八百拾圓は第二回新株割增金繰入）　損失補塡準備金

參萬五千圓　配當平均準備金

八萬五千圓　役員賞與金及交際費

六拾萬圓　舊株配當金（年六分）

五萬貳千六百貳圓七拾四錢　新株配當金（年六分）

參拾萬圓　舊株再配當金（年三分）

貳萬六千參百壹圓參拾六錢　新株再配當金（年三分）

五萬貳千貳百四圓九拾六錢　政府納付金

參拾六萬壹千參拾參圓參錢　後期繰越金

之れを前期に比すれば證券の膨脹と營業の好成績支店增設等の爲め總益金に於て約五百八十萬圓を增加結局純益勘定に於て四十一萬圓の增を計上せり而してその益金分配は損失補塡に十萬圓增加配當平均に於て五千圓、役員賞與一萬圓增加配當一分增更に純益激增の結果五萬二千圓の政府納金を出し結局繰越金は約八千圓を增居れり

◎軍馬二百頭拂下

西伯利出征軍馬の一部は目下內地に引揚中なるが該軍馬は當初九州地方に於て徵發したるものなるを以て內地に一先づ引揚ぐべきも更に拂下を爲さゞる可からざるを以て當局にては朝鮮に於ける騎兵二月中旬に京城に於て約三百頭の軍馬を一般希望者に對し拂下ぐる由因に這回の出征軍馬には試驗的に牝馬を使用せし所其結果成績良好なりしが拂下げ軍馬中にも牝馬ある由なり

◎質屋業者請願　取締法改正案を衆議院へ

京城質屋組合取締橋本義雄氏は語つて曰く現行質屋取締法は明治二十八年三月法律第十四條を以て發せられたる法律にして爾來民法其他の法律は多く根本的の改正が遂げられたるにも不拘本法は何等改正行はれず時代の推移に適應せざるのみならず反つて其條文の或る點に至りては舊質屋條例が業の實際に適する場合もある次第にて當業者が其改正を希望する事にて十數年來に亘り當局に於ても根本的改正の必要を認めし事は第三十七議會に於て衆議院の提出に係る司法中一部改正法律案を貴族院委員會にて審議中當時の保局長が根本改正を言明し其間に該改正案を否決されたる事實もあり爾來未だ具體的の李案を見ざるは吾人同業者の遺憾とする所なるを以て同業組合十七箇所にて請願書を送付せり又京城質屋組合にては國税徵收法中改正案を大藏大臣へ宛て請願書を提出せり

人事消息

▲奧村竹三郎氏（全北阿中農場主任）五日京城入城

▲高橋福正氏（東京淺野合資會社礦山部技師）同上

▲市川知雄氏（同上）同上

▲吉川平次郎氏　同夜出城

◎御題　一象

大阪より（日林大阪府知事作）

雪路驅る朝賀の橇や晴模樣

六甲山にて

冬枯れて戰ぶ雀の高く飛ぶ

平和會議の諸問題に就て（三）

國際聯盟の可能性

軍備制限は不可能なり　幾多の矛盾　某將軍談

平和會議も愈近づいて來た世界は此會議を一紀元として改造せらるべく向ひつゝある。果して其の所謂講和後の新世界が如何なる狀勢のものであるか。眞に今日主唱せられつゝある國際聯盟が、豫想通り理想的に實現せらるゝであらうか。永久の平和を維持すべく列國

▲軍備の制限も完全に行はるゝに至るであらうか。世上此等の問題に對して尠からず疑惧の念をなさゞるものは無いやうである。宜なり矣、彼の國際聯盟、軍備制限を唱へつゝある米國にして、尙ほ且つ軍備擴張に殊に海軍の大擴張を策しつゝあるではないか。然し講和會議が如何なる新世界を招來した所で、英米兩國が世界の何れの國よりも今のところ最も強い國である事は動かすべからざる事實である。佛蘭西や伊太利や其他の國は何うしても此

▲二強國の後に追隨して行かなければならぬ運命にあると見做さなければならぬ。獨逸が革命前の如く君主國であらうと或は共和國であらうと歐洲に於ける地位に於ては異なる所は無からう寧ろ戰後の獨逸は共和國家を維持して行くといふ點に於ては、此五年に近い戰ひの苦しさから得た所の教訓として何等かの形になつて早晩現はれるに至るであらうといふことが豫想される。然し將來歐洲に於て結局英米兩國が

▲經濟上の戰を爲すに至るであらうといふことは充分想像さるゝのである。而して他の諸國は之れに追隨して行かなければならぬ。即ち將來英米が互ひに經濟上の競爭を爲すといふことは世界進步の上から見て惡いことではない。思ふに國際聯盟成立を期する自ら歐洲に出て行つた米國大統領ウイルソン君は其當に主唱しつゝあるが如く眞に永久の世界平和を熱望しつゝあるのは事實であらうが果して米國の國民が君の主張通りに何處迄も承認するかが問題である。國民の意見と君の意見と一致することのみは無いといふことは

▲米國の政情から考察しても推測することが出來る。又彼の米國議會で海軍擴張案の昨年議會を通過したるが如きこれを觀て世人は講和前の既定計畫なれば、又將來國際聯盟及び軍備制限等が成立するも米國は既定計畫丈けはこれを遂行するであらうとの説を爲す者もあるが、米國議會法は若し軍備制限等の行はるゝが如きことあれば、何時にても此の既定計畫に基く軍備擴張を中止することが出來るやうになつてゐるのである要するに

▲之等の問題は列國會議に於て軍備制限が如何なる程度のものに制定せらるゝかに依つて決定する、而して其軍備制限が既定計畫及び各國互ひの國力上他の點から比例して割出されるものか何うかは未だ之れを豫想するに難い。之れを要するに今や開かれんとする新世界改造の列國會議が如何なる實を以て結ばれるかといふことは、吾人の最も期待さるゝ所であつて、又列國運命の定まる時である

◆畢竟理想論　某提督談

軍備の制限と云ふ事は世界永久平和の保障を維持せんが爲め是非實現せしめ度いことである。然らば如何なる形式により如何なる組織によりて成立させたら好からうか。是れ

▲萬人の疑問とする所であり且つ實務家として頭腦を惱ましつゝあるところである。然し乍ら我輩は遺憾ながら此問題に對しては悲觀論者たらざるを得ない。何んとなれば此の軍備制限或は縮小といふも、陸海軍ともに充分の逃け道があるからである。即ち先づ海軍から考へても、造船術上幾らでも、所謂武裝せざる軍艦として、商船汽船の名目の下に建造することが出來るからである。列國仲裁々判所の如きものが設立されて、一々造船所の監査を嚴にするとしても、要するに結局は其監査のあるも無きも同じことに歸するものである。又陸軍として

▲徵兵撤廢案が成立するにしても、縱し徹底的にこそ、社會治安維持のための巡査なる名目の下に於ても正規の軍隊と同じき所のものが成立するではないか。又學校の運動や體操科に於ても充分軍事教育を施行することが出來るではないか之を要するに我輩は以上の理由の下に此の軍備制限なるものは到底成立せざるものであることを認むるものである。假令正義人道の上からして或は其の他の理由の下にしても、其れは唯だに所謂表面的表面上形式的に成立するに至るとしても、且つ理想的のものであつて、實際の制限或は縮小は事實に於いて實現することは困難であらう（東京支局）

◇鳥瞰錄◇

獨逸製品が大戰前に世界各地の市場に覇を稱へた事は誰でも知つて居る▲が一體何うして獨逸製品が其れ迄の信用と名聲を博し得たかと云ふ事は大に研究すべき問題であらねばならぬ▲獨逸だとて其れ迄に築き上る事は少からぬ努力と時日を要して居る▲獨逸の製品は最初から信用を得名聲を博したものでは決してない其處に大なる苦心が存して居る▲其の苦心や我對西伯利貿易業者や又は戰後の對露商業上日本の成功如何に大に關係がある▲然らば獨逸は之れに何う云ふ事をしたかと云ふと其れは大した事ではない主として延取引と常に露人の嗜好を研究した結果である▲獨逸人の商業は品物を見本式に一先づ其需要先に預けて嗜好の模樣を見計つて不用な品は取り替へ入れ替へをする▲其處で不用な品を差し向け要な嗜好に適したものを差し向けるだから自然に獨逸製品の信用が出來ると同時に獨逸品でなければならない樣になる▲丁度富山の藥屋が今尙は內地の田舍に重寶がられて藥と云へば富山の萬金丹と云ふ事になる▲性急な日本の商人が此の手で行けるか何うかが問題だかも知れぬ▲商賣は誤魔化すものだと心得て居る間は日本の商業も海外發展は先づ覺束ない誤魔化し付けて居る日本の商人から見ると馬鹿々々しい樣に見ゆるかも知れぬ▲試に支那輸出の莫大小のシャツを見ても粗製品にはメイド、イン、イングランドの印がある▲處が孰ぞ知らん其の何れもが日本製なのには驚く▲之れでは幾等やかましく云つても駄目だと某露國通の話

生徒募集

本年四月左記各科第一學年ニ入學セシムヘキ生徒ヲ募集ス

本校　染織科、應用化學科、窯業科、各科ヲ通シ朝鮮人約三十名　土木科、建築科、鑛山科　內地人約十五名

附屬工業傳習所　金工科、木工科、陶器科、織物科　化學製品科　各科ヲ通シ朝鮮人約五十名內地人約二十五名

詳細ハ二月一日以後ノ官報又ハ直接本校教務係ニ付キ承合スヘシ

大正八年二月

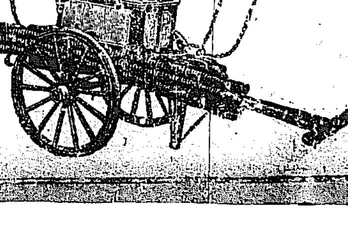
京城工業專門學校

村は豐饒　民は鼓腹

寄附はたちどころに集まり

消防組は到る處に新設せらる

消防組新設の時期は今此時!!



京城　熊平支店

振替京城一六二二番　電話長三一五四番

八角鋼、黑鐵用金網、眞鍮物製作

ストーブ各種建築金物

△地方御注文は迅速に御便宜相計り可申候

商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候

直輸入商　京城本町一丁目　佐野彥藏商店

電話一六三番　振替京城二一〇番

麻、綿糸ハツ打綱、シデ綱、源平糸、帳綴糸、細引、タヽミ糸

麻苧、マニラロープ

麻繩、玉糸各種

綿糸撚糸棕梠繩

○地方御注文ハ迅速ニ御便宜相計可申候

京城本町二丁目　森政吉商店（モ）

電話一五九四番

朝鮮法制研究會

再版

縮刷　朝鮮法規提要

▲ポケット形一千餘頁　▲總クロース函入美本　▲定價二圓二十錢　▲特價二圓　送料八錢

內容

憲法、法例—憲法—法例—公式令

官規—官制—官吏—任用試驗—服務分限—給與

賞恤、恩給

文書、附印鑑

地方行政

社寺、宗教

兵事

教育

衞生、警察

財務

土地、林野、河川

法務

產業

交通、電氣

賣捌所　京城太平通　京城日報社代理部　電話長六〇〇九番　振替京城三〇〇番

內科　外科　小兒科　花柳病

高井醫院

京城本町二丁目（壽館前）電話二一六番

院長　醫學士　高井貞治（正六位勳四等功五級）

副院長　千葉醫學士　松崎正彥

診察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄

大阪株式特電　五日　前場　後場　[illegible]

大阪三品　[illegible]

東京株式特電　[illegible]

神戸期米　[illegible]

仁川期米　[illegible]

仁川米豆取引所　五日の四月限　[illegible]

◎清々しき白砂の上を 靈車徐かに軌れば

軍樂隊『哀しみ極』の曲を吹奏す

偲びまつる故有栖川宮國葬儀

大正二年七月十八日に行はせられたる故元帥海軍大將大勲位功三級有栖川宮威仁親王殿下の國葬儀の御模樣を偲びまつれば左の如し

同日午前四時柩舎の装飾を整へ同三十分より御柩前祭を行ひ同五時半には御殿正門内廣場に海軍儀仗隊整列し御門前には御葬列の編成を畢り海軍々樂隊『哀しみ極』を吹奏し午前六時

號笛の響を合圖

に靈車は正門を發せらる。靈車殿邸を出づれば騎馬の警部先驅を奉仕し次いで騎馬祭視の警衛も厳かに白裝清々しき陸軍々樂隊『吹きなす笛』を吹奏しつゝ進み堵列の儀仗兵威儀を正し漏喨諸兵總指揮官は指揮刀を馬上に閃かしつゝ先頭に立てば參謀長陸海儀仗の一隊之に從ふ。續いて別表の如き葬列順序を以て豐島ヶ岡なる葬祭場に向はる。豐島ヶ岡の御葬場には朝まだきより御式場を鋪設して葬列を待ち葬場は左右後の三面に壁代を造り

前面には御簾を

垂て其半ばを褰げ御手洗、淨紙等備へらる。靈車葬場に入るや更に『吹きなす笛』の喇叭を吹奏し奏樂の哀調切なり。靈車は淨砂の上を辷りて葬場に北を枕に安置せらる諸員左右の幄舎に落床し喪主親王御名代幄舎に入らせ給ふ。次いで勅使、皇后御使、東宮御使等幄舎に參進木位に落ち午前九時を以て斂葬の御儀を行はせらる。大眞榊、花瓊、錦旛は葬場の左右に供へられ靈車の御前には

燦たる勳章布列

せられ外國皇帝名代特命全權公使、各國使臣、内閣各大臣其他參列諸員肅として威儀を正し奏樂の哀音咽ぶが中に祭官長は祭詞を白し右畢るや勅使御玉串を捧げ次に皇后宮、皇太后宮、東宮各御使拜禮喪主親王御名代御玉串を捧げ續いて有栖川妃慰子殿下御玉串を捧げ給ふ續いて大妃殿下伏見大將宮殿下外國皇帝御名代、各宮殿下の拜禮ありて奏樂裡に撤饌し最後に儀仗兵三發の弔銃を發射す。

(備考)威仁親王國葬式行列順序

警部馬 祭視馬 警部馬 陸海軍儀仗兵 葬儀掛判任官 葬儀掛高等官 舍人
警部馬 警部馬 葬儀掛判任官 舍人
黄旛 黄旛 黄旛 舍人 楯 楯 楯 桙 桙 桙
黄旛 黄旛 黄旛 舍人 楯 楯 楯 桙 桙 桙
白旛 白旛 白旛 舍人 楯 楯 楯 桙 桙 桙
白旛 白旛 白旛 舍人 楯 楯 楯 桙 桙 桙
榊 宮内大臣奉供 榊 内閣總理大臣奉供 舍人 黄色錦旛 葬儀
榊 宮内大臣奉供 榊 内閣總理大臣奉供 舍人 黄色錦旛 葬儀
掛判任官 葬儀掛高等官 大眞榊 祭官 莫床 祭官
掛判任官 大眞榊 祭官 靈柩 雨皮 雨皮 莫床 祭官
祭官 祭官長 榊 昌徳若宮 榊 昌徳宮 榊 竹田宮 北白川宮
祭官副長 祭官 榊 昌徳若宮 榊 昌徳宮 榊 竹田宮 北白川宮
東久邇宮 朝香宮 榊 梨本宮 榊 久邇宮 賀陽宮 山階宮 華頂宮
東久邇宮 朝香宮 榊 梨本宮 榊 久邇宮 賀陽宮 山階宮 華頂宮
東伏見宮 榊 閑院宮 伏見宮 小松宮 淳宮 東宮 皇太后宮 榊
東伏見宮 榊 閑院宮 伏見宮 小松宮 淳宮 東宮 皇太后宮 榊
皇后宮 聖上 樂師六人 家從 家令 家從 別當 勳章奉持十一人
皇后宮 聖上 樂師六人 家從 家令 家從 別當 勳章奉持十一人
陸軍將校五人 家扶 家族 故親王の喪主親王 馬車 皇子附高等官陪乘
陸軍將校五人 靈口付 家扶 家族 附屬武官
故親王の親族たる親王、王 馬車 各皇族附武官陪乘 親王、王 馬車 各皇族附武官陪乘
陪乘 王族、公族 馬車 各附屬武官陪乘 故親王の親族たる華族 馬車 葬儀掛長 馬車
葬儀掛高等官 馬車 主治醫 馬車 警部馬 大勳位親任官以下奉送諸員
送諸員 馬車又は自動車 同 徒歩 葬儀掛判任官 葬儀掛判任官 陸海軍儀仗兵 警部馬 警部馬
警部 馬 警部 馬

◎李王妃殿下 御風氣

李太王殿下薨去以來成寧殿に於て御服喪中なる李王妃殿下は一週間前より御風氣の模樣あり蠋託醫安商浩氏專ら御手當申上げ居れるが容易に御回復の模樣なく此兩三日は殊に御熱高かりし由にて近侍の人々は大いに氣遣ひ居れりと

◎國葬事務打合 會議續行

國葬事務所に於ける第一回事務打合會は夕刊既報の如く五日午前十時半より開會せるが午後も引續きて議事を進め五時過ぎに散會せり尚一部の掛員は七時頃迄居殘りて會議を續行せり

◎女に化けた 劉昌世

七日公判開廷

京畿道天安郡廣徳面萬福洞李世日事劉昌世(三二)は洋装婦人を裝ひて昨年十一月下旬京城安國洞下宿業森貞錫方に投宿して自分は

◇米國 より最近歸鮮し忠清南道に或る慈善事業を經營中にて京城にも百萬圓を投じて何か慈善事業を行ひたしなど大風呂敷を廣げて同宿人の平壌水口里金榮允を煙に卷き且つ自分は未だ良き配偶者なきを幸ひ配偶者となり呉れよなど甘言を弄して金榮允より千五十圓を騙取せるを鍾路署の李巡査補が探知し引致取調べんとする際十

◎有栖川宮の國葬 に準據されん

李太王殿下の國葬は夕刊所報の如く大體に於て葬祭場までは神式に則らるゝ事に決定した模であるが其後更に承はるところに依ると當日の規模行列は多分大正二年七月を以て執り行はれた有栖川宮威仁親王殿下の國葬儀に準據される事になるであらうと云ふ事である

◎厄介な流行病 人間にも傳染する鵞口瘡

目下撲滅を期して努力してゐる 板東衞生課長談

(警務總監部警務官)

釜山鎭移出牛檢疫所に於て鵞口瘡發生し客月三十日初發以來本月三日迄に病牛實に百二十八頭を出し病勢猖獗を見んと傳へられつゝあるは既報の如くなるが右に關し警務總監部板東衞生課長は語る『御承知の如く朝鮮から釜山經由で内地に移出する牛馬豚羊其他に對して釜山鎭赤崎半島に設置されて居る

▽移出牛 檢疫所に於て十八日間繫留して檢疫濟の上移出する事になつて居るのですが同檢疫所に於て檢疫中客月三十日鵞口瘡發生し同日は四頭の病牛を出してるが其後續々病牛を發見し昨今では約二百餘に達し居る狀態です牛も商品の一つですから病牛を内地に向け朝鮮から移出したとあつては朝鮮の信用にも關係することですから目下大れ〳〵手配をして極力終熄を期して撲滅に努力して居る次第で既に五日附府令第十六號で本病豫防の爲め獸疫

▽豫防令 に依り當分の内釜山府凡一洞に於ける牛、羊、山羊及び豚の出入往來及び牛市場の開設を停止されたといふやうな譯で現在釜山には檢疫に要する牛舍は十六棟三十三牛舍あつて目下檢疫の爲め繫留してある牛は一千九百八十頭約二千頭近くの數に達して居りますが右の中檢疫所に於て實際檢疫中若くは鵞口瘡病牛と決したものが全部で約四百頭程で其中の約二百頭に對して目下緊急撲滅の措置を執つて居ります最も一種の流行病しても必ずしも

▽免疫性 のものでないと云ふことでありますが兎に角大事輸で豫防並に終熄に努めて居る、朝鮮で釜山に次いで内地に多數の生牛を移出して居るのは木浦ですが、木浦では釜山のやうに十八日間も繫留して健康を診斷するといふことは行らずに極簡單な診斷をするのみに止めて充分な檢疫は内地の移入地に於て施行する事になつて居りますから木浦は甚だ危險です釜山の如く牛市場開設其他の禁止を行つて居らぬが取敢ず木浦一圓の牛馬其他

▽家畜類 の交通を禁じて居ります必要に應じて釜山と同一なる獸疫豫防令の適用を要すべく右に關しては警務部長より出報で上申して來ることになつて居ます同釜山で發生した鵞口瘡の病牛は平北の定州、黄海道の沙里院、鷄里地方から搬出した牛であるといふことが判明したが平北や黄海道へ何處から傳染して來たかといふ系統は目下不明で研究中です、全體鵞口瘡は人間にも傳染するといふことになつてゐて仲々厄介な流行病です、主に傳染は病牛と直接に接觸するからのやうです、夫れから目下の

▽發生地 は前記の釜山、平北、黄海道以外に客月中旬頃から今日迄に咸鏡南北兩道内に約三百頭の病牛を出してゐます、此方面には即時獸醫並に警部を派して豫防の手配其他病源系統等に就いて調査研究中である。咸南北の生牛は城津及び元山の二港から主に敦賀に移出して居りますが木浦と違つて可なり厳格な檢疫を施行し一々其の健康證書を下附して輸出すといふ事になつて居りますから比較的安全な譯となります、次に朝鮮以外の最も接近してゐる所で該病の發生したのは一月十日頃に間島の

▽龍井村 で約二千頭の鵞口瘡病牛を出したと云ひますから或は此方面から咸鏡道方面に襲來したのでは無からうかと思へぬでもないが未だ何等系統が判明しない、兎に角豫防に努力して一日も早く該病流行の終熄を期してゐる次第です

圓紙幣十枚を

◇贈賄 して跳付けられたる事件は當時報道の如くなるが其後審理の結果愈有罪と決し詐欺贈賄罪として地方法院の公判に附せらるべく七日公判開廷の筈

◈立春

二月五日は麗かな春の長閑さを憶はする立春であるが朝は大變寒かつた京城測候所に就き立春の氣溫を聞くに今朝六時の溫度は零下十八度で今年のレコードであると然し麗かな陽が出てからは流石にポカ〳〵と暖かつた(寫眞は五日の東大門外)

◎蘇生した氷斫り

百萬兩の寒が來た 活氣付いた漢江々上

此兩三日は近來にない沍寒で森羅萬象何一つとして凍結せぬものはなく寒には馴れた市民も普通ならず脅威を感じたが唯麻浦から東蠶一帶の氷商人だけは恰度蘇生でもしたやうに躍り上がつて喜んだ夫は此寒氣で漢江の

◇結氷が厚 くなり大きな氷が幾千でも採れ出したからである尤も漢江の結氷は今に始まつた事ではないが是迄は酷寒と云ふものは極めて少く概して陽氣が續いたので結氷はしても分の薄いと話にならず從つて斫り出しても役に立たぬので何れも天を仰いで酷寒の襲來を待ち受けて居たのである其折も折立春を

◇目前に控 へた頭日二日は宛で春先のやうな陽氣だつた

される氷室は漢江沿岸に

◇卅棟から 設備してあるが既に大きなのには七八千萬枚小さいのでも二三十萬枚の氷を貯藏して居ると云ふから是を合計すると結局漢江沿岸には目下百萬枚からの氷がある譯である一口に氷斫りと云へば格別資本も要らず只だけのやうに思はれるけれど採氷、運搬賃、食人夫賃だけでも二萬圓は懸かる由な

◇運搬賃は 一枚七厘乃至二錢五厘と云ふところであるが平均一錢と見ても百萬枚なら一萬圓、却々生優しい譯のものではないが此外に尚食料も要れば資本に對する利子も支拂はねばならぬ彼是勘定すると隨分莫大なものになると云ふ然し氷商人が今度の寒さを喜んで居ることは非常なもので何れも百萬兩の寒だと云つてホク〳〵の態である

◇鐵橋附近 から下流の麻浦へかけて何百とも知れぬ人夫が江上に入り亂れ揚げるやうな寒さを物ともせず唄か何かで伎々と働いて居る、夫が恰度秋の収穫でも見るやうで江上は氣持ちの好い程活氣が漲して居る、斫り出した氷の大きさは縱一尺縱二尺五寸位で斫り出すと直ぐ氷室に運搬

の一米氷商人は失業者の淵に沈んだが天道人を殺さずとやら三日來の寒氣に寒氣が押し寄せ結氷は一夜の中に五寸以上に達したので氷商人も始めて愁眉を開き夫から早速採氷に從事した目下のこゝ鷺梁津

◎安東の火事 三棟四戸全燒

四日午後八時五十分安東四番通九丁目四番地楊盛潤方より發火し三棟四戸を全燒し同九時三十分鎭火したるが原因は蠟燭を點火したる儘放棄せしに因る損害高約三百圓なり(安東特電)

讀者文藝

◇謎々『朝鮮とかけて』

△十二月と解く、心は日本の玄關(厳寒) 平壌 清水 芳月
△不當の金貸と解く、心は金利(金剛)が高い(名高い) 顏安 古塚 江
△補助貨の排底と解く、心は銅貨(同化)が大切 龍台 大石 劍牛
△四温日和と解く、心は前日は三寒(三韓) 元山 内山 孫思
△婦人の自殺と解く、心は貞操(鼎爼)(兒弟) 非邑 紅 華

二等

△瑜公の戰死と解く、心は金剛山で名高い(先考) 平北 宗 周子
△雷の北と解く、心は追々開けて行く 京城 中山 京雄
△桃太郎の土産物と解く、心は金銀珊瑚(金銀採掘)が沢山ある 京城 いく子

一等

△文明の醫藥と解く、心は早婚(舊慣)を改むる 京城 保 治
◎外家と解く、心は獨立(濁音)になる 龍山 十の字

◎俘虜の感冒

四百名に達す

帝國に於ける獨墺捕虜は當初總數四千七百十一名なりしが最近現在の捕虜總數は四千六百十二名にて内流行性感冒に侵され服藥中のもの六收容所を通じて四百名あり現在の捕虜收容所別左の如し(東京)

△習志野俘虜收容所九百十七名△名古屋同上五百二名△青野原同上四百八十九名△板東同上千廿五名△似島同上五百四十三名△久留米同上千百卅六名△合計四千六百十二名

◎薗商殺私訴

吉川康馬より薗商殺し部野川義雄に對し治療費及び損害其他私訴提起中の處同事件は一昨年中断し居たるが今回康馬相續人吉川咬喜より受繼の申立あり五日朝吉川代理人大久保辯護士都野川代理人内田辯護士出廷公判開廷審理の結果八日判決言渡しあるべし

演藝

△壽座 嵐信此、中村玉六一座の歌舞伎にて好評を博し居れるが一座は今六日より愈獨特の新劇神猫を觀覽に供する事、外題は 前狂言 檜山騷動相馬大作傳 切狂言 在原系圖嫩冬狂 にて何れも内地にて好評を博したるもの朝鮮にて始めての試みなるが殊に在原系は市藏の十八番なりと云へば一層の見ものなるべし

△有樂館 五日より一回動寫大會にて主として胡蝶作品を公開し居れりとなるが右は 宮島ユニバーサル週報 △奇劇幕つた結婚 △社會劇社會の流木 △連續活劇鐵爐路の人 △人情劇狂風の人

△伊太利歌劇 來る十一日午後八時三十分より朝鮮ホテルにて伊太利の女優チアンヌド嬢一行の歌劇あり入場券は朝鮮ホテルにて發賣の由

威仁親王國葬御葬場配置圖

祭壇
葬場
樂舍
大將 勳一等 外國人
大臣、同待遇 從一位、正二位 奏任
各國外交官 公侯爵 勅任 學士院會員
國際新聞協會 判任 奏任六等以下 市名譽職 判任
勅使 喪主 儀係 皇族
一等官 貴衆兩院議長 伯子男爵
貴衆兩院議員 奏任 奏任六等以下 學校長 國際新聞協會 判任
御通路

名藥紹介

引風とたんせきは十錢でも治る

但し油斷したら大變 つまり早いもの勝ち

◎近頃上中流の家庭で非常に評判のよいセキドミンと云ふ藥がある、富田醫學士と敗津と云ふドクトルが、多年共同研究の結果、合議して製劑した現今流行の惡性感冒を容易に撃退する事ができる痰咳感冒の良藥セキドミンが夫れである。

◎セキドミンと云ふ藥は、流石に富田敗津の兩大家が苦心の製劑であるだけ世間のありふれた藥とは全然異つて、主として貴重藥のみを配合し、之を小さな錠劑とした せきどめ感冒藥としては蓋し最良最善のものである、殊に子供や藥嫌ひの人でも飲み易く其服用量は尠くして、其効力は實に大なるもので評判は非常に良い。

◎誰でも若し痰咳の爲に烈しく咳き切れかしたり、感冒で痰咳が出たり、咳にたんがせらしたり、喉に痰が出たり或は時候の變故に痰咳が出たり、聲が嗄れたり、若くは夜中に頻りと咳嗽が出たり、喘息や病後などで咳嗽の出る時に急いで此セキドミンを服めば、極めて手がるに痰咳が止り熱も解け、肺炎氣管支加答兒肋膜炎を始め感冒も快よくなる。

◎此藥は、三日分廿五錢、七日分五十錢、徳用分一圓の三種ある、風邪だなと感じ、咳が出るなと思つた時には良藥セキドミンを服めば、容易之を治すことが出來るけれども「ナアニ」位で油斷して居たら最後、忽ち諸種の呼吸器病を續發し、氣管支加答兒、肺炎、肋膜炎となり、遂には終生不治の肺結核に罹つて、其病根を子孫に傳へる樣になる。

◎此セキドミンの近頃非常に賣れるのは、一つには此用心の爲め、家庭の常備藥として之を買ひ置く客も少くないからと云ふとであるが、成程厩入となつて居る藥であるから、其栓を堅くしてさへ置けば保存にも亦至極重寶な藥である殊に製法は他に類のない錠劑であるから服用に湯水も入らぬ旅行等の用心藥として携帶に便利である

◎各地の信用ある藥店で賣つてゐるから、好商輩が類似の藥を賣出して顧客を瞞して居るから、殊にセキドミンと指定して買へば安全である。

本舗 東京銀座 大阪東區 中西定太郎藥房

織物大暴落につき半値段

織物暴落品停滞品投賣

注意 注文

絹大島紬 大島紬 大島紬 純子 毛セル 綸子 綸紋帶 兵兒 桐生織物

緬 景江信託株式會社 同 出張所

最上醤油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

船舶職員試験 朝鮮總督府遞信局 大正八年二月六日

▲債券▼ 關東都督府認可 公債債券月賦販賣 大連債券株式會社 公債債券現物賣買 營業案内無代進呈

京日案内

鮮人社員招聘 恩給立替 西村商會 事務員招聘 代診看護婦 小倉小兒科病院 御袴仕立專門 山崎商店

有田ドラッグ 東京日本橋通四 大阪心齋橋 にせ物 朝鮮のにせ物 百圓進呈

母と子 (百二)

北島春石作　森田久畫

應接室 (一)

志保子はやうやく不審を抱いた。

『實家からの使でしたら、何ういふ用向か伺ひませう。』

『いや、實は。』と彼の青年は思ひ切つて顔をあげた『中洲のお實家からまゐつたとは嘘言です。』

『何でございますつて……』

『他人の名義を欺つては相濟まんが、さうでもして申上げねば、迚も御面會は叶ふまいと存じ、實は然んな嘘を吐いたんです。』

志保子はつと瞳を据ゑた。實家の名を欺つて嫁入先へ押掛け、無理から自分に逢はんとするには、尋常ならぬ事情がなくては叶ふまいが、何う考へても今までに見た覺もない……相手が初對面じや

るだけ、善か惡か、その心の底を見抜ねつゝ、

『みづからでも宜しくないと御承知ならば、別に咎める必要も認めませんけれど、それには何か御事情があらうと思ひますゆゑ、わたくしへの御用向をお伺ひしませう。』

『では、無理なお願ひもお聞届け下さいますので……』

『そのお願ひと仰有るのは?』

『他でもありませんが、我々夫婦は貴女のお助けを願ひたいのです。』

『でも見ず知らずのお方を……第一未だそちらのお名前さへも伺ひませんのに。』

『これは僕が宜しくなかつた。』と、彼の青年は淋しい微笑を浮かべつゝ、肩から胸へかけての繃帶を指し示し『御覧のごとき始末で、自分の兄のために斯る大負傷をさせられた後は、まるで常識を逸して居るですから。』

志保子にはますく解らなくなつた。この青年が何者とも知れぬに、わが兄に負傷せしめられたから、夫婦を助けてくれとは確に非常識である……一種の謎をかけられた氣がして、殆ど答ふるところも解らずに、

『貴方が左樣なすつたに就て、わたくしに關係でもありますか。』

『さあ、全然無關係とも……何しろ、僕の兄をよく御存知の筈ですから。』

と、憎らしい態度がだんく溢れて、青年の眼には凄い光が添ふ。

『では、まづお名前を。』

『奥さん吃驚なすつちや可けません。僕の兄は佐久間穣造と云ふんですから。』

『エッ、あの佐久間が……』と、果して志保子は顔色一變『ぢや貴方は確か詮一と仰有るでせう。』

『左樣、その佐久間詮一が僕なんです。』と、青年は始めて淺黃の頭巾を脱いだ『而も又貴女とは義理ある姉妹にも當るんだからな。』

『失禮な!そんな義弟を持つた覺はありません。』

『うむ、未だその御披露はしてなかつた……』と冷やかな嘲笑を浮べて『だが、高松樹中に淡紅子といふ小娘があつた筈ですがね。』

『淡紅子とはわたくしの妹です。』

『ぢや、僕には貴女を姉さんと呼ぶべき立派な資格があるんだ。』

『まあ、何うしてでせう。』

『今まで秘密を打明けた以上、かう先から先を聞くだけが野暮だ。』と、詮一は椅子の上に高胡座、卓上の卷煙草をもつて火を移しながら『さだめし高松の老爺から聞き取りだらうが、去年の冬あの淡紅子が七千圓の持參金附で縁付いた先は即ちこの佐久間詮一なんです。尤も未だ表立つての披露はせんが、僕が淡紅子の良人たる以上無論、神崎令夫人を義姉と呼んで差支ないんでせう。』

さう大膽にも打明けた當人は、牛園々しく覺悟を極めて乘込みもしたらうが、始めてそれと知つた志保子は、あまりの意外さに驚異の眼を睜るのみ。

『は……は……、何もさうまで驚くには及ばんでせう。二人は結婚匆々に意外な災難を受け、今日貴女の御同情に縋るべく伺つたのが、見てもまづ生命に別條だけはないから。』

名刺　京城　太平堂　電話二七二番　振京一三六七番

よく效れます**キヤラメル**
ライオンキヤラメルは滋養豐富血液增進の**ライオンキヤラメル**で有ます試に召上て御覧遊ばせ。
京城發賣元　**德永商店**　本棧町　話二七三番

〇子供の急病(二) 其手當の種々

||何うして觀分けるか

▲**呼吸** 呼吸器病の場合には呼吸が荒くなる。嬰兒では一分間に五十、七十、百もする事がある此場合には肺炎かと疑はれる

▲**運動** 赤兒の手足の運動は特異に一種角張つた動かし方を致します、手足に痛みがあれば動かしません、痲痺の場合には弛緩して居ます、痙攣のときは此反對です、腹痛の時は足をかがめて泣きます、高熱でも呼吸は早くなる、心臟に異狀のあるときも促迫する就中小鼻が動く樣なときは强い呼吸困難を示すもので大抵は肺炎です、さもなくば病氣の末期です

▲**食慾** 食慾が減じた場合は何か病氣に罹つてゐるのです、是は胃腸の病氣のみではなく他の病氣にも見る症候です

▲**眼色** 素人方のよく氣のつくことです、一夜眼が二夜眼になることが病氣の時によくあります、下痢などの場合にはよく半開のまゝ眠る、又榮養障碍などのとき白眼が青味を帶びることがあります、眼がボンヤリしてゐるときは腦の病氣か他の重い病氣です、眼が赤くなれ又は眼ヤニが增すときは眼自己の病氣です

▲**泣聲** 重症の小兒は泣けなくなり、乳兒脚氣の折には聲が立ちませんことがあります、夕方發作的に泣くのは所謂夜泣きです又疼痛の場合にも發作的に泣くのです泣聲は種々の形で種々の病氣を示しますから最も注意を要します

〇米價は下るか 當分見込無い

が九月頃に一變あらう深川銅米市場の鹿瀨常務取締役長は語る農商務省が發頭發表した第二回の收穫豫想高に比し實收で百五萬石の減收全體から觀れば僅々一分九厘減で

▽**大局に影響** する程ではなし且第二回豫想當時から多少の減收を見越て居たから今更米價に大した變動を見まいと思はれる許りか一般の需要供給關係からいふならば今後も容易に低落しまいと思はれると言ふのは

▽**格付に外米** 代用で米の地位は下つたものの肝腎の外米が本國に於ても非常に高く其他種々の關係で輸入高も少い其上米の實收は適沖發展し且需要の一層に多くなつた本年に於て昨年の實收と殆ど大差のないと云ふに至つては外國米にしてもモツと多く入る樣にでもしなければ到底米價は下りツこないと思ふ旨

▽**雜穀輸入税** の減免は確に効能があらう麥及び麥粉の輸出を禁じて內地で消費させ外國から輸入を容易にする事は確に好い然すれば麥收穫後即ち八九月頃になつて米價にも影響を及ぼさうと思ふ(東京)

蝋燭　倉成　蘇水

一本のローソク
かい焔の下に……
ジリ、ジリ、ジリ、ジリと
爛れては溶ける、悶ひの死骸。
眞紅にたぎつた心臟の鼓動は
今、鋭く冷たく濁り
弱々しい俺の肺は
豆腐の内部の樣に
今にもくずれさうだ
蒼白い顏の奥の瞳孔も又
味噌の如く腐りかたまる
只一つ。ホロくとこぼるゝ
白き蠟滴の
熱き淚のみぞ
かすかに生命あり
　八、一二、一一

〇代用食の研究 日本式の麭麵

成人が代用食物を研究した結果一の新食料を發見した之れは蕎粉と饂飩粉を交ぜて蒸したもので淡泊とした風味の極めて宜いもの、お辨當などには麵麭などよりも遙に適切である、夫で一人一食米一合五勺を食すると假定すると其價三等米で金七錢一厘を要する此パンを用ると小麥粉二合、大豆粉一合で其價金六錢で全く要らない此の製法は大豆粉(黃粉)小麥粉(饂飩粉)を水で捏ねて約廿分ばかり蒸す、若し長時間保存するなら蒸してから乾燥させるのである、味は捏ねる際に鹽味を附けたゞけで宜い、必要に依つて甘味噌でも醬油でもお附けになれば美味しく喰べられると

◇**副食物** は要らない

◇**饂飩粉** を交ぜて蒸したもの

日韓柳壇　劍花坊選

城
城渡し河も大石三日寢る　香海
頓城の涙に易へる實のなり　同
城跡に子供の軍ごつこを見　禪
宮城を七千萬の生きた垣　同
城跡に桁が聴いてる蟋蟀　同
頭上に惚れらるゝは容易なり　[illegible]
二百不義二人と出る金　流
國民が城を拜んだ甲斐も無く　笑

新刊紹介 (到着順)

▲日本印刷界(二一五) 印刷業者の參考書として稱すべき好資料を有む [illegible]
▲魔法 [illegible] 面白くお伽話十六篇を收めたもの [illegible]
▲少年(一八〇) 少年雜誌の上乘なもの [illegible]
▲一日一訓(松平直亮) [illegible]
▲婦人畫報(一五六) [illegible]
▲科學世界(一二之六) [illegible]

參考書

津村兄弟商會　京城本町二丁目　電話一四八〇番　振替一〇七〇〇番

▲木太刀(十七の二) 二十二錢 東京牛込築地町十二 其社
▲東亞時報(一月號) 五十錢 東京麴町區內山下町一の一 東洋協會
▲城壁報(五十九號) 一年分金八十錢 [illegible]
▲群馬の產業(一月號) 十錢 前橋市曲輪町二五 其社
▲光(一月號) 二十五錢 大阪市東區今橋五の一一 關西閣書會
▲平民(九十九號) 三錢 東京 [illegible] 生活社
▲奉天評論(第二號) 奉天小西關 其社
▲市町村雜誌(三〇二) 十二錢 東京 [illegible]
▲報德(九ノ二) 八錢 鹿兒島市山下町 鹿兒島市報德會事務所
▲國民法律(一月號) 一ヶ年七拾錢 [illegible]

今日のお惣菜

〇**切乾の胡麻酢** 切乾を微溫湯で洗ひ、直に甘酢に漬けると數日後には軟かくなる、別に油揚に熱湯を注ぎ細く刻み淡火に炙り汁氣を取り前のと共に胡麻酢をかける、胡麻酢は白胡麻を炒つて砂糖醬油少し酢に伸ばす

〇米強制兵役論

[illegible] せられんことを推奨す何となれば [illegible] 如何なる價を拂ふも戰爭を避くる [illegible] 的なり此制度を以てせば [illegible] して米國を救國の大 [illegible] 年なら [illegible] が僅々九十二時間の訓練を以て戰 [illegible] 作物等に堪ふるが如き兵卒を練成 [illegible] 更に五十萬人を動員し得れば國防 [illegible] の目的を達し得べしと信じたりし [illegible] あるを以て若し假りに兩國聯合の [illegible] 大勢力を以て米國と戰端を開く [illegible]

▲**民兵制の大缺陷** 又 [illegible] 右スコット少將 [illegible]

Scientific Research Made
MITSUWA GINSENG TABLETS.　100 tablets ¥ .55　500 tablets ¥ 2.00

This remedy feeds vitality to the strained and careworn nerves and dispels the brain fag. It is efficacious for anaemia, inanition, hysteria, hypochondria, energy-decline and is especially good for kidney troubles. Not only it improves the muscular tone and invigorates the nerves, but it also excellent for the means of recovering vigor to persons of weak constitution who are flabby and incapable of continued exertions.

醫學博士酒井和太郎氏研究の結晶精粹たる
ミツワ人參錠
定價　百錠入 金五十五錢　五百錠入 金二圓　内地以外は關税運賃を加ふ

主效　神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、腦貧血、腦充血、腎臟炎、貧血、老衰、榮養不良、精力減退。

醫學博士酒井和太郎氏はミツワ化學研究所に在つて、漢藥人參の藥効、藥理等の諸作用を學術的に研究し、[illegible] 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、及び頭痛、偏頭痛、[illegible] 等に對して偉効を現はし、[illegible] 腦貧血、[illegible] 之を腎臟炎に適用すれば、尿量 [illegible] 子宮病、諸種の婦人病等に因る貧血症に [illegible] 困憊症に筋肉の疲勞を癒し、頭腦を明晰にし、意氣を旺盛ならしめ、老衰の諸因を去る等の卓効を奏す。

適應諸症

一、頭が重く或は頭内が朦朧とする人
一、眼の疲れ易い人
一、逆上せて逆手となる人
一、眠らうとしても眠れぬ人
一、眠れて凶い夢を見る人
一、些細の事を氣に懸ける人
一、何事にも怒り易い人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、精神の鬱々する人
一、何事も悲觀して厭世的になる人
一、物事を深く考へることの出來ぬ人
一、物事の理非判斷の出來ぬ人
一、物事の記憶の不良い人
一、雜念頻りに起り集注の出來ぬ人
一、神經衰弱に罹つて居る人
一、血の道に罹つて居る人
一、陰萎や遺精で困る人
一、腎臟病に苦しむ人
一、產前產後又病後の衰弱を防ぎたい人
一、勉學をして直に疲れる人
一、勞働をして疲れ易い人
一、精神の疲勞を早く治したい人

(現品縮寫圖)

ミツワ石鹸
みつわせつけん

凡そ石鹸は、洗濯用、洗滌用、浴用、化粧用、等各用途に從つて、其の原料其質を異にすと雖ども而かも皆等しく、遊離の强鹼曹里なく、遊離の脂肪なく、些の混合物なき化學上の純石鹸たらざるべからざるは、素より當然のことなりとす。

皮膚の分泌旺盛にして而かも纖造なる本邦人の皮膚及び漆黑を貴ぶ毛髮の洗滌に用ふべき化粧用石鹸は啻に化學上の純石鹸たるの故のみを以て其適否を論ず可らず

ミツワ石鹸 は化學上の純石鹸たるのみならず尚左の性狀を具備す

一、原料を精選し、芳香に香料に、苟も刺戟を感ずべき虞あるものを用ゐず
一、高雅の芳香を有す
一、細き泡沫を生じ、適度の溶解性を備へて能く水にも溶解し而かも浴室に用ひて、半途に溶け崩るゝが如き憂ひなし

故に、一般の家庭に於ける浴室、化粧用として、衛生に適ひ、經濟に合する、理想的實用品なり

種類	大形	中形	小形	極小形	水石鹸
價	金貳拾五錢	金拾八錢	金拾貳錢	[illegible]	[illegible]

内地以外は關税運賃を加ふ

(現品縮寫圖)

本舖　ミツワ家庭藥　ミツワ乳兒用鐵葡萄酒　ミツワ人參葡萄酒　肝油ドロップス　御園化粧品

發賣元　(登錄商標)　東京市日本橋區橘町四丁目　藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
振替口座東京七一〇番　電信略號◎ミヤ……　營業部電話浪花三〇〇・四四八〇・四四九〇・四五〇番

大阪商船汽船出帆

(仁川出帆)
▲群山大阪行 安東丸 二月十日 正午出
▲木浦大阪行 ×信濃川丸 二月十五日 正午出
(元山出帆)
▲西湖津、新浦、城津、清津行 安平丸 二月七日 後十二時
▲釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宮島丸 二月十三日 後九時出
(大連出帆)
▲仁川、鎭南浦、打抱石 須磨丸 二月四日 前六時出 / [illegible]丸 二月十四日 後六時出
內地各港出帆主要航路
▲歐洲行 毎月二回 ▲北米行 毎月二回 ▲南米行 毎年四回 ▲南洋行 毎月一回 ▲濠洲行 毎月一回 [illegible]
大阪商船株式會社仁川支店 [illegible]

尼崎汽船出帆(仁川)

▲群山木浦下ノ關大阪行 秀吉丸 二月七日後四時出 / 君が代丸 二月十一日後四時出
▲群山木浦下ノ關神戸大阪行 大有丸 二月十三日後四時出 / 赤城丸 二月十八日後四時出
仁川海岸通二丁目 高杉回漕部 (電話五九番)

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 平安丸 二月十二日頃 元山發
▲浦汐行 越後丸 二月 日 釜山發 / 元山發
▲雄基行 京畿丸 二月十九日 釜山發 / 咸鏡丸 二月十三日 元山發
▲元山雄基線 穩城丸 二月 日 元山發
▲大阪行 平壤丸 二月五日 釜山發
▲關門行 ×忠淸丸 二月二十日 元山發 / [illegible]
▲金剛山遊覽便 [illegible]
▲濟州島行 昌平丸 二月八日 釜山發
▲釜山浦項線 [illegible]
▲鬱陵島行 盈德丸 二月 日 釜山發
▲東廻 公州丸 二月六日 / 西廻 慶興丸 二月九日 木浦發
▲釜山麗水線 [illegible]
▲多島海行 [illegible] 木浦發
▲木浦行 全羅丸 二月六日 仁川發
▲海州行 仁川海州間 [illegible] 仁川發
▲鎭南浦行 [illegible]丸 月 日 仁川發
▲大連青島行 江原丸 二月 日 仁川發
京畿道及前外船下荷客運輸ノ便アリ
本社 京城南大門通 (電話長一九五三)
釜山支店　元山出張所　仁川代理店　木浦荷客取扱店 [illegible]
其他各港地ニ荷客取扱店